

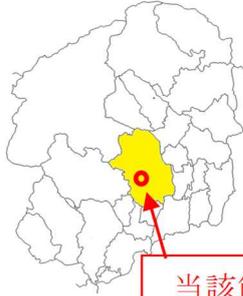
再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課
 担当課長名：荒川 辰雄

事業名	スマートICアクセス 都市計画道路 <small>おおどお</small> 大通り		事業区分	街路	事業主体	栃木県
起終点	自：栃木県宇都宮市桜3丁目 <small>うつのみや さくら</small> 至：栃木県宇都宮市駒生町 <small>うつのみや こまにゆうまち</small>			延長	3.4 km	
事業概要						
都市計画道路大通りは、JR宇都宮駅から県都宇都宮市の中心市街地を通過し、東北自動車道（仮称）大谷スマートICと接続する、延長約6.3 kmの都市計画道路であり、（仮称）大谷スマートICと宇都宮市街地とのアクセス向上、自転車歩行者の安全確保、渋滞解消を目的とし宇都宮市桜3丁目～同市駒生町までの延長約3.4 kmを整備するものである。						
H20年度事業化	S 7年度都市計画決定 (H13、H15、H30年度変更)		H20年度用地着手		H24年度工事着手	
全体事業費	約167億円	事業進捗率	約80%	供用済延長	0.9 km	
計画交通量	14,900～33,200台/日					
費用対効果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 6.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 29/200億円 事業費：27/198億円 維持管理費：2/2億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 182/246億円 走行時間短縮便益：164/223億円 走行経費減少便益：17/21億円 交通事故減少便益：1/2億円	基準年 令和3年		
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B/C=1.1～1.4 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=5.7～6.9 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.1～1.4 (事業費±10%) 事業費：B/C=5.7～7.0 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.1～1.3 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=6.2～6.6 (事業期間±20%)						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・東北自動車道（仮称）大谷スマートICと宇都宮市街地を結ぶルートとしてのアクセス強化 ・歩行者・自転車の安全で快適な通行空間の確保 ・円滑な交通機能の確保や路線バスの定時性の確保 ・救命救急活動や都市防災機能の強化 						
関係する地方公共団体等の意見						
宇都宮市から早期整備の要望を受けている。						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める。						
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等						
周辺環境等に特に変化はない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地取得率約89%、事業進捗率約80%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事等を推進していく。						
施設の構造や工法の変更等						
技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図

栃木県



当該箇所



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。